

インフルエンザ(2025 年第 46 週)疫学情報

《コメント》

2025 年第 46 週の定点当たり報告数は 37.73(患者報告数 145,526)となり、前週の定点当たり報告数 21.82 よりも増加した。都道府県別では宮城県(80.02)、埼玉県(70.01)、福島県(58.54)、岩手県(55.90)、神奈川県(55.12)、秋田県(54.60)、千葉県(53.47)、群馬県(52.16)、栃木県(49.60)、山形県(47.05)、東京都(44.75)、北海道(44.01)、茨城県(43.94)、京都府(41.55)、兵庫県(40.57)の順となった。全国 47 都道府県中、46 都道府県では前週の報告数よりも増加し、1 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 1,466 例であり、前週(888 例)から増加した。47 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(72 例)、1～4 歳(292 例)、5～9 歳(282 例)、10 代(141 例)、20 代(26 例)、30 代(22 例)、40 代(27 例)、50 代(45 例)、60 代(90 例)、70 代(188 例)、80 歳以上(281 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2025 年第 42 週～2025 年第 46 週)では、AH3 亜型が 151 件(86%)、AH1pdm09 が 19 件(11%)、B 型が 6 件(3%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://idw.info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。